

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語コミュニケーションⅡ	4	2	人文社会・自然科学系列

使用教科書	副教材等
All Aboard! English Communication Ⅱ (東京書籍)	All Aboard! English Communication Ⅱ ワークブック (東京書籍)

科目の目標 (1) 聞くこと 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 (2) 読むこと 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 (3) 話すこと(やり取り) 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 (4) 話すこと(発表) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 (5) 書くこと 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の特徴やまじり(音声、語彙、表現、文法など)について理解し、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。
② 思考・判断・表現	日常的・社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法 評価の観点3項目に基づいて評価する。 ①知識・技能・・・課題テスト、定期テスト、小テスト、ワークシートなど ②思考・判断・表現・・・定期テスト、パフォーマンステスト(リスニング、ライティング、英語でのスピーチ・発表・やり取りなど) ③主体的に学習に取り組む態度・・・授業内での活動の取り組み状況(発表、ペアワーク、グループワークなど)、授業プリントや課題の提出状況など
--

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Lesson 1	Coloful Island	関係代名詞whatを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			SNSにアップされた海外旅行の報告の概要を捉えることができる。	○	○	○
			海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて書いたり、伝え合ったりできる。	○	◎	◎
5	Lesson 2	With the Beatles	比較表現<more><the most>を用いた文の意味・用法を理解している。	○	○	○
			世代を超えて人気のある音楽バンドや好きな人物について話されるスピーチや対話の概要を捉えることができる。	○	○	○
			好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由などを書いたり、伝え合ったりすることができる。	○	◎	◎
6	Lesson 3	Wild Men	itを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			ヨーロッパ国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチの概要を捉えることができる。	○	○	○
			身近な行事について自分で調べたことを用いて、情報や考えなどを書いたり、伝え合ったりすることができる。	○	◎	◎
7	Lesson4	Little hero	間接疑問文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の概要を捉えたり、物語の結末を創造したりすることができる。	○	○	○
			好きな物語について自分で調べた事柄を用いて、紹介する文を書いたり、自分の考えや理由などを伝え合うことができる。	○	◎	◎
9	Lesson 5	Special Makeup in Kabuki	to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章の概要を捉えることができる。	○	○	○
			日本の伝統文化について自分で調べたことを用いて、紹介する文を書いたり、情報や考えを伝え合うことができる。	○	◎	◎
10	Lesson 6	Seeds for Future Generations	動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			高校の部活動による京野菜についてのグループ発表や京野菜について書かれたポスターの記事の概要を捉えることができる。	○	○	○
			地元の有名な場所や物について紹介するポスターの記事を書いたり、それを使って整理して話すことができる。	○	◎	◎
11	Lesson7	Over the Wall	関係副詞where, whenを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			世界中で壁画を描く活動について書かれた話の概要を捉えることができる。	○	○	○
			自分自身を変えたりや外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを伝え合うことができる。	○	◎	◎
12	Lesson 8	Inspiration from Nature	知覚動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			生物模倣についてのオンライン講義の授業や痛くない注射針について書かれた記事の概要を捉えることができる。	○	○	○
			自然界のデザインをヒントに開発された製品について自分で調べた事柄を用いて紹介記事を書いたり、それを基に話したりすることができる。	○	◎	◎
1	Lesson 9	The Bitter Truth behind Chocolate	使役動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			チョコレートをめぐる社会問題とその解決策についての雑誌の記事や児童労働の問題についての討論の概要をとらえることができる。	○	○	○
			チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えを整理して書いたり、伝え合ったりできる。	○	◎	◎
2	Lesson 10	Fighting Angel	分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯を紹介する記事の概要を捉えることができる。	○	○	○
			人を助ける職業について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えを整理して書いたり、伝え合ったりできる。	○	◎	◎

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語コミュニケーションⅡ	2	2	食品園芸・機械技術・電子情報 ビジネス・ライフデザイン系列

使用教科書	副教材等
All Aboard! English Communication Ⅱ (東京書籍)	

科目の目標
<p>(1) 聞くこと 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと(やり取り) 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと(発表) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の特徴やきまり(音声、語彙、表現、文法など)について理解し、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。
② 思考・判断・表現	日常的・社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法
<p>評価の観点3項目に基づいて評価する。</p> <p>①知識・技能・・・課題テスト、定期テスト、小テスト、ワークシートなど</p> <p>②思考・判断・表現・・・定期テスト、パフォーマンステスト(リスニング、ライティング、英語でのスピーチ・発表・やり取りなど)</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度・・・授業内での活動の取り組み状況(発表、ペアワーク、グループワークなど)、授業プリントや課題の提出状況など</p>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Lesson 1	Coloful Island	関係代名詞whatを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			SNSにアップされた海外旅行の報告の概要を捉えることができる。	○	○	○
			海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて書いたり、伝え合ったりできる。	○	◎	◎
5	Lesson 2	With the Beatles	比較表現<more><the most>を用いた文の意味・用法を理解している。	○	○	○
			世代を超えて人気のある音楽バンドや好きな人物について話されるスピーチや対話の概要をとらえることができる。	○	○	○
6	Lesson 3	Wild Men	itを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
			ヨーロッパ国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチの概要を捉えることができる。	○	○	○
7	Lesson 4	Little hero	身近な行事について自分で調べたことを用いて、情報や考えなどを書いたり、伝え合ったりすることができる。	○	◎	◎
			間接疑問文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
9	Lesson 5	Special Makeup in Kabuki	ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の概要を捉えたり、物語の結末を創造したりすることができる。	○	○	○
			好きな物語について自分で調べた事柄を用いて、紹介する文を書いたり、自分の考えや理由などを伝え合うことができる。	○	◎	◎
			to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
10	Lesson 6	Seeds for Future Generations	歌舞台と隈取について解説する歌舞台教室の音声ガイドの文章の概要を捉えることができる。	○	○	○
			日本の伝統文化について自分で調べたことを用いて、紹介する文を書いたり、情報や考えを伝え合うことができる。	○	◎	◎
			動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
11	Lesson 7	Over the Wall	高校の部活動による京野菜についてのグループ発表や京野菜について書かれたポスターの記事の概要を捉えることができる。	○	○	○
			地元の有名な場所や物について紹介するポスターの記事を書いたり、それを使って整理して話すことができる。	○	◎	◎
			関係副詞where, whenを用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
12	Lesson 8	Inspiration from Nature	世界中で壁画を描く活動について書かれた話の概要を捉えることができる。	○	○	○
			自分自身を変えることや外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを伝え合うことができる。	○	◎	◎
			知覚動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	○	○
1	Lesson 8	Inspiration from Nature	生物模倣についてのオンライン講義の授業や痛くない注射針について書かれた記事の概要を捉えることができる。	○	○	○
			自然界のデザインをヒントに開発された製品について自分で調べた事柄を用いて紹介記事を書いたり、それを基に話したりすることができる。	○	◎	◎

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	論理・表現 I	2	2	人文社会・自然科学系列

使用教科書	副教材等
VISTA: Logic and Expression I (三省堂)	VISTA: Logic and Expression I サブノート(三省堂)

科目の目標 1年次「英語コミュニケーション I」の学習で身に付けた「コミュニケーションを図る資質・能力」を基に、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした発信能力を更に伸ばしていきます。特に、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝えること、伝え合うことに重点を置いて学習します。具体的には、デモンストレーションやモデルとなる文章等を豊富に提示し、それらを活用しながら話したり書いたりする力を総合的に伸ばします。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の学習を通じて言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。英語の音声、語彙・表現、文法を、において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	場面・目的・状況等に応じて、様々な話題について情報や考え等の概要・詳細・意図を的確に理解したり、適切に表現したりしている。また、「話すこと」「書くこと」を通して、情報や考え等の概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	英語を聞いたり読んだりして、情報や考え等を積極的に理解しようとしている。積極的・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。また、他者を尊重し、他者に適切に配慮しながら、自分の意見や考えを英語で話したり書いたりして表現しようとしている。

評価方法 評価の観点3項目について評価する。 ①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど) ②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど) ③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Lesson 1 Bouldering? How Nice!	現在形(be動詞/一般動詞)	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介するために、「クラブ活動」「高校でしてみたいこと」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 共感を示す表現を使いながらやりとりができる。 	○	○	○
5	Lesson 2 Famous People	過去形(be動詞/一般動詞)	<ul style="list-style-type: none"> 相手にその人の魅力が伝わるように、「紹介したい」「歴史上の人物」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。 興味のある人物について、形式を意識して簡単な英語を用いて発表することができる。 	○	○	○
	Lesson 3 Aquarium Adventure	現在進行形/過去進行形	<ul style="list-style-type: none"> SNSで伝えられるように、「今していること」や「過去にしていたこと」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 	○	○	○
6	Lesson 4 My Summer Plan	未来を表す表現 (will/be going to)	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み予定を伝え合うために、「予定」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 	○	○	○
	Lesson 5 UFO Sightings	現在完了形①(経験/継続)	<ul style="list-style-type: none"> 「自分が経験したこと」を紹介するために、「経験」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などをまとめ、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。 	○	○	○
7	Lesson 6 Homestay	現在完了形② (完了/現在完了進行形)	<ul style="list-style-type: none"> 英語でメールを書くために、「(完了したこと)や」「継続していること」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 	○	○	○
9	Lesson 7 Which Is Faster?	比較表現 (比較級/最上級/as...as ~)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な比較するために必要な表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開に工夫して話して伝え合うことができる。 	○	○	○
	Lesson 8 Great Inventions	助動詞①(can/may)	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるすぐれた「発明品」を紹介するために、「発明」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。 	○	○	○
10	Lesson 9 Save the Earth	助動詞② (must/have to/should)	<ul style="list-style-type: none"> 「環境問題」についてのホームページを作成するために、「環境問題」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 	○	○	○
11	Lesson 10 Masterpiece	受動態	<ul style="list-style-type: none"> 様々な「芸術作品」について話すために必要な表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 	○	○	○
	Lesson 11 My Future Job	不定詞① (名詞的用法)/動名詞	<ul style="list-style-type: none"> 「将来やりたい職業」について発表するために、「職業」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基にして、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。 	○	○	○
12	Lesson 12 World Heritage	不定詞② (副詞的用法/形容詞的用法)	<ul style="list-style-type: none"> 「世界遺産」を紹介するホームページを作成するために、「世界遺産」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 	○	○	○
1	Lesson 13 Pictogram	分詞(現在分詞/過去分詞)	<ul style="list-style-type: none"> 「人々の様子」や「ピクトグラム」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 「人々の様子」や「ピクトグラム」に関する情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 	○	○	○
	Lesson 14 Cool Japan	関係代名詞	<ul style="list-style-type: none"> 「日本文化」を海外へ発信するために、紹介したい「日本文化」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫し、理由とともに話して伝えることができる。 	○	○	○
2	Lesson 15 What's SDGs?	仮定法(if~/I wish ~)	<ul style="list-style-type: none"> 「国際協力」についての意見や感想を書くために、「SDGs」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語コミュニケーションⅠ 演習	2	2	自由選択A・B群

使用教科書	副教材等
	英語総合問題集UniteO(数研出版)

科目の目標 1年次「英語科コミュニケーションⅠ」の学習を通して身に付けた英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする資質・能力」を基に、英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解し、その知識をもとに聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を理解したり、適切に表現したり伝えあっている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語の背景にある文化を理解し、英語を用いて積極的に言語活動を行い、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法	
評価の観点3項目について評価する。	
①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど)	
②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど)	
③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	L1	文の種類	英文の決まりを理解し、適切な種類の文を用いることができる 疑問文や命令文を用いて、相手とやり取りができる。	○		
5	L2	時制	時制に関する規則を理解し、適切に用いて表現することができる 自分の生活について正しい時制の英文で伝えることができる 自分の将来の夢やそのきっかけについて伝えることができる	○		○
6	L3	現在完了形	現在完了形について理解し、適切に用いて表現することができる 自分や相手の経験について、尋ねたり答えたりすることができる	○		○
7	L4	助動詞	助動詞の用法を理解し、相手が伝えたい内容を正しく捉えることができる。 助動詞を用いて、相手に頼んだり、許可を求めたりすることができる	○		○
9	L5	受け身	受け身の表現や用法を理解し、適切に用いることができる。 イラストや写真の人物やものについて説明することができる。	○		○
10	L6	不定詞	不定詞の用法や不定詞を用いた様々な表現を理解し、適切に用いることができる。 自分の感情とその理由について人に伝えることができる。	○		○
11	L7	動名詞	動名詞の用法や不定詞との違いを理解し、適切に用いることができる 天気について情報を聞き取ったり、人に伝えることができる	○		○
12	L8	分詞	現在分詞や過去分詞の意味や用法を理解し、適切に用いることができる。 レストランで注文をしたり、聞き取ったりすることができる	○		○
1	L9	接続詞	接続詞を適切に用いて、より詳しい内容を伝え合うことができる。 説明文を読んだり、聞いたりして概要や要点を把握することができる 読み取ったり、聞き取った内容について自分の意見や感想を述べるすることができる	○		○
2	L10	比較表現	比較表現を理解し、適切に用いることができる 図表を見て情報を整理しながら読んだり、聞いたりすることができる。 グラフや表を基にして自分の考えや情報を伝えることができる	○		○
3						

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語コミュニケーションⅡ 演習	4	3	人文社会・自然科学系列

使用教科書	副教材等
	英語総合問題集UNITE2(数研出版)

<p>科目の目標</p> <p>英語コミュニケーションⅡの学習で身に付けた「コミュニケーションを図る資質・能力を基に、英語で、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。</p>
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解し、その知識をもとに聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を理解したり、適切に表現したり伝えあっている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語の背景にある文化を理解し、英語を用いて積極的に言語活動を行い、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	
評価の観点3項目について評価する。	
①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど)	
②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど)	
③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	L1	文型: 文の構成要素――5文型	文の構成要素や文型を理解し、適切な文型で、表現することができる。 イラストについての質問に英語で答えることができる。	○		
	L2	時制: 基本時制、進行形	現在形、過去形、進行形について理解し、適切に用いて表現することができる。 イラストを英語で描写することができる。	○		
5	L3	完了形: 現在・過去・未来の完了形	完了形を用いた表現について理解し、適切に用いて表現することができる。 学校紹介の英文の誤りを直すことができる。	○		
	L4	助動詞: 基本的な助動詞	助動詞の用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 英文の誤り直し、正しく伝わる文を書くことができる。		○	○
6	L5	受動態	受動態の用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 テレビゲームについて自分の意見を述べるすることができる。		○	○
	L6	不定詞1: 基本的用法	不定詞の基本的な用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 傘の忘れ物を減らす方法について自分の意見を述べることができる。	○	○	
9	L7	不定詞2: 意味上の主語、原形不定詞、完了不定詞	不定詞の発展的な用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 イラストを描写することができる。		○	○
	L8	動名詞: 基本的用法、意味上の主語	動名詞の基本的な用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 スマートフォンを使ってすることについて自分の意見を書くことができる。	○	○	
11	L9	分詞・分詞構文: 形容詞用法 分詞構文	分詞の用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 伝えたい内容を情報を整理して説明することができる。	○		
	L10	準動詞のまとめ	不定詞・動名詞・分詞について理解し、適切に用いて表現することができる。 お世話になった相手にメール文を書くことができる。	○		
1	L11	比較	比較表現について理解し、適切に用いて表現することができる。 日本の外国人観光客を増やすことについて自分の意見を述べることができる。		○	○
	L12	関係(1)	関係代名詞の用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 データやグラフが示す情報について、英語でやり取りをすることができる。	○	○	
3	L13	関係(2)	関係副詞や関係詞の継続用法について理解し、適切に用いて表現することができる。 データやグラフをもとにして、自分の意見を述べるすることができる。		○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	論理・表現Ⅱ	2	3	人文社会・自然科学系列

使用教科書	副教材等
VISTA Logic and Expression Ⅱ(三省堂)	VISTA Logic and Expression Ⅱ サブノート(三省堂)

<p>科目の目標</p> <p>2年次「論理・表現Ⅰ」の学習で身に付けた「コミュニケーションを図る資質・能力」を基に、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした発信能力を更に伸ばしていきます。特に、論理の構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝えること、伝え合うことに重点を置いて学習します。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の学習を通じて言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。英語の音声、語彙・表現、文法を、において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	場面・目的・状況等に応じて、様々な話題について情報や考え等の概要・詳細・意図を的確に理解したり、適切に表現したりしている。また、「話すこと」「書くこと」を通して、情報や考え等の概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	英語を聞いたり読んだりして、情報や考え等を積極的に理解しようとしている。積極的・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。また、他者を尊重し、他者に適切に配慮しながら、自分の意見や考えを英語で話したり書いたりして表現しようとしている。

<p>評価方法</p> <p>評価の観点3項目について評価する。</p> <p>①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど)</p> <p>②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど)</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)</p>

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	L1 Guess who?	質問する 描写する	紹介したい人物やキャラクターについて特徴を理解して考えを深めることができる。自分の考えや気持ち、情報などを論理の構成や展開を工夫して、話して伝えることができる。	○	○	
5	L2 Space Travel	希望・願望を表す	宇宙で体験してみたいアイデアについて「希望」「願望」の表現を用いて自分の考えや気持ち、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	○		
6	Lesson3 Where is the post office?	場所・行き方をたずねる/ 位置・方向を示す	道案内をするために「道順」や「目印」などについて自分の考えや気持ち、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができる。	○	○	○
7	Lesson4 Wonderful World	具体的に説明を加える	世界のおすすめスポットのポスターを書くために、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	○	○	
9	Lesson5 Job Search	図表を説明する	面接で自分をアピールするために、「職業」などについて、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。	○	○	○
10	Lesson6 New-type Robots!	誘う、能力を表す	ロボットコンテストに出展するために、「ロボット」などについて、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	○	○	
11	Lesson7 Enjoy Japanese Foods	数量を表す 順序・経過を表す	外国の人に「和食」を紹介するために、情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。	○	○	
12	Lesson8 Looking for an Apartment	部屋の配置 対比する	ルームメイト募集の広告を書くために住居についての情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	○	○	
1	Lesson9 Ideas from Nature	名称を表す 理由を述べる	身近なバイオミクリーについてプレゼンテーションするために情報や特徴などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。	○	○	
2	Lesson10 Let's Learn about SDGs!	出典・引用を表す	「社会問題とその解決のためにできること」のアイデアに応募するために情報や特徴、自分の考えを論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
英語	英語コミュニケーションⅡ 演習	2	3	自由選択D・E群

使用教科書	副教材等
	英語総合問題集UNITE1(数研出版)

科目の目標
英語コミュニケーションⅡの学習で身に付けた「コミュニケーションを図る資質・能力を基に、英語で、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解し、その知識をもとに聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図を理解したり、適切に表現したり伝えあっている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語の背景にある文化を理解し、英語を用いて積極的に言語活動を行い、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法
評価の観点3項目について評価する。 ①知識・技能(課題テスト・定期テスト・小テスト・ワークシートなど) ②思考・判断・表現(定期テスト・パフォーマンステストなど) ③主体的に学習に取り組む態度(パフォーマンステストに対する取組、授業内の活動に対する取組、課題への取組や提出など)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5	L1	文の種類	英文の決まりを理解し、適切な種類の文を用いて書いたり、話したりできる。日常生活について英語でやり取りができる。	○		
	L2	文型	文の構成要素や文型を理解し、適切な文型で、表現することができる。イラストの内容を英語で描写することができる。	○	○	○
6	L3	時制1	現在形、過去形、進行形について理解し、適切に用いて表現することができる。身近なテーマを決めて簡単なエッセイを書くことができる。	○	○	
	L4	時制2	未来を表す表現について理解し、適切に用いて表現することができる。明日の予定について英語でやり取りができる。	○	○	○
7	L5	時制3	完了形を用いた表現について理解し、適切に用いて表現することができる。伝えたい内容をメモにまとめることができる。	○	○	
9	L6	助動詞	助動詞の基本的な用法や助動詞+have+過去分詞の形について理解し、適切に用いることができる。掲示物の内容を英語で説明できる。	○	○	○
	L7	受動態	基本的な受動態について理解し、適切に用いて表現することができる。イラストの内容を英語で描写することができる。	○	○	
10	L8	不定詞1	不定詞の基本的な用法について理解し、適切に用いて表現することができる。団体旅行と個人旅行のどちらがいいかについて自分の意見を述べるすることができる。	○	○	○
	L9	不定詞2	不定詞を用いた重要表現を理解し、適切に用いて表現することができる。旅行プランについてメッセージのやり取りをすることができる。	○	○	○
11	L10	動名詞	動名詞を用いた重要表現を理解し、適切に表現することができる。人物の特徴を的確に描写したり、他人に伝えることができる。	○	○	
	L11	分詞	分詞を用いた重要表現を理解し、適切に用いて表現することができる。環境問題について自分の意見を述べるすることができる。	○	○	
12	L12	比較	比較表現を正しく理解し、適切に用いて表現することができる。グラフや表を読み取り、他者に伝えることができる。	○	○	○
1	L13	関係代名詞	関係代名詞を用いた重要表現を理解し、適切に用いて表現することができる。学校や、地域について英語で紹介することができる。	○	○	
2	L14	接続詞	接続詞を理解し、適切に用いて表現することができる。宇宙について、自分の意見を述べるすることができる。	○	○	
	L15	仮定法	仮定法過去/願望を表す用法について理解し、適切に用いることができる。自分の願望について、仮定法を用いて表現することができる。	○	○	○